

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	直腸癌における局所励起を用いた拡散強調画像の検討：従来の拡散強調画像との比較			
② 実施予定期間	実施許可日から 2025年3月31日			
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の3テスラMRI装置で検査を施行された直腸癌の患者さん			
④ 対象期間	2020年1月1日から2022年6月30日を対象期間とし、追跡期間として2022年12月31日までの情報を収集する。			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第1外科、第2外科			
⑦ 研究責任者	氏名	田辺昌寛	所属	放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、現病歴、既往歴、前治療、MRI画像、病理診断			
⑨ 研究の概要	<p>MRIの拡散強調像は分子の拡散運動を画像化できる撮像方法で、分子の拡散運動が低下している悪性腫瘍では正常の臓器に比べて高信号に描出されます。体幹部領域でも拡散強調像は腫瘍の検出、悪性度の推定などで広く用いられていますが、空間分解能がほかのシーケンスよりも低いため、解剖学的な構造を把握するのが難しい場合があります。撮像範囲を絞ると空間分解能を上げることができますが、従来の撮像方法では撮像外の構造による折り返しアーチファクトの影響が出てしまうために不可能でした。</p> <p>近年、関心領域に限局した局所励起によって、撮像範囲を絞っても折り返しアーチファクトが出にくい撮像方法が開発されました。局所励起を用いた直腸癌の拡散強調像の画質評価に関する報告は少なく、その有用性が十分に検討されているとは言えません。</p> <p>本研究の目的は、1回の日常診療で行われている検査内で撮像された従来の拡散強調像と局所励起を用いた拡散強調像において、直腸癌の画質評価を行うことです。局所励起を用いて撮像範囲を絞ることによって、解剖学的な構造や病変が明瞭に描出できるかを評価することは、今後の病変検出能を向上させる上で重要です。</p>			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年9月5日		
⑪ 研究計画書等の	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人			

閲覧等	情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：井上敦夫 電話 0836-22-2285 FAX 0836-22-2285		